

# 2021 ひょうご教育のつどい(1月22・23日)

オンラインでも学ぶ喜びを実感！

## 記念講演をされる宮口幸治さん（立命館大学）



宮口さんの著書  
「ケーキの切れない非  
行少年たち」少年院で  
の治療実践のまとめ



今年度の「ひょうご教育のつどい」は新型コロナへの感染拡大防止の観点から、全体会も現地姫路にはスタッフのみ、あとはオンライン参加をお願いしました。全体会は200名の参加。文化行事の姫路市立広峰中学校の合唱も関西合唱コンクール金賞を受賞された素晴らしい歌声を生で聞けなかったことは大変残念でしたが、映像からでも「栄光の架橋」の歌声は感動的でした。

宮口さんの記念講演は、教室の中で軽度の知的障害＝「境界知能」の子どもたちが、しんどさを誰にも気づかれずに過ごしていることが実証を通して紹介され、解決の方法＝「コグトレ」を具体的に示されました。集会後のアンケートでは、「勉強になった」「できないことの原因を探り、支援の方法を探ってみたい」と、高評価が多く寄せられていました。

23日（日）は、いくつかの分科会を統合し、8分科会がオンラインで開催されました。障害児教育分科会はオンラインパネルディスカッションに挑戦。画面いっぱいの参加者は小中学校・特別支援学校の教員だけでなく、福祉職や保護者の方もおられて、広い視野で討議ができました。各教科、問題別分科会では教育実践の交流が主な内容でしたが、若い世代の参加者が増えており、今後の教育研究活動に大きな期待が持てる集会となりました。

記念講演の内容は障教組  
ブログでも紹介しています。



## 兵庫県高等学校従業員組合の 署名に協力をお願いします

平均で年間100万円にも及ぶ  
生活破壊の提案！



この度、県は、技能労務職に大幅な賃金削減を提案しました。県と国家公務員の技能労務職の職務内容は全く異なっています。それなのに「国行（二）」の給料表を適用したいという生活破壊を伴う提案をしてきたのです。

常日頃、学校の環境整備に務められ、給食にある学校では子どもたちの食を支えてこられ、さらにコロナ禍で大変なのに、ひどい仕打ちです。住宅ローン、教育資金、定年退職後の生活資金など、すべてに影響し、すべてを破壊する提案です。みんなで跳ね返しましょう。

見過ごせば次に来るのは、全ての県公務員かも。

# 第196回高教組中央委員会 知恵と力を合わせて前進！

1月30日、新型コロナウイルス感染拡大を受けてオンラインと会場とのハイブリッドで開催し、各支部・単組から選出された中央委員、准中央委員の27名が出席しました。ここまで運動の経過と次年度大会までの運動方針や会計議案を審議し、全会一致で執行部提案の議案はすべて採択されました。



## 開会挨拶 小野泰司中央執行委員長

大変な状況の中での参加、ありがとうございます。近高連がとった大企業へのアンケートで、高校教育に望むことという質問に対して【自立した生徒、思いやりのある生徒、やっていることの意味を考えながら行動できる生徒に育ててほしい】という回答がありました。私たちがめざす教育の目的と同じです。政府や財界はGIGAスクール構想など社会を生き抜く人材の育成を声高に叫んでいますが、ほんの一握りの人たちの利益のために、教育と子どもたちが振り回されていないか、疑問は膨らむばかりです。若者は分断と孤立化、そして貧困と格差の中にあって苦しんでいます。そんな若者が将来に夢と希望を感じられるように、今、私たちの教育の在り方と教職員組合として社会との向き合い方が問われています。共に前進しましょう。

## 討 論 か ら

青年部では採用学習会で教員採用試験の対策をしていただいて感謝しています。また、青年部主催のリモート学習会では先生方が実践されている授業を紹介し合いながら学び合っています。今年度初めて開催されたオンライン交流会では普段会わない特別支援学校の先生方も交流することができ、有意義な時間が過ごせたように思います。来年は採用になって、組合員として頑張りたいです。

飾磨工業高校分会 坂田航

本校では今年度途中に3名の休職者が出了。うち2名は産休なので当然事前に把握できていたのに、代替教員は1名も確保できず、同じ教科の教員が分担して授業を受け持った。また2名はクラス担任だったが、クラス運営は学年主任等が兼務する形で対応した。地域的に代替教員が見つかりにくい実情もあるかとは思うが、このまま放置できる問題ではない。是非この問題への早期の対応を望みます。

淡路三原高校分会 今若克哉

同一労働・同一賃金のはずなのに、非常勤講師の時間給が余りにも低額すぎる。県内私学の賃金・条件などを調べて、民間水準にするべきだと交渉で迫って欲しい。

ICT教育の推進で、考えることをしなくなり、受け売りで発表する人間を作ってしまうことを懸念している。民主的人格を形成する実践を、教育研究集会や日常の組合活動で、みんなで議論し考えていきたい。

神戸高校分会 中澤克行

障教組、12月の県交渉は若い世代が大勢参加。財政難を口実にする県当局に具体的な数字や写真等をパネルで示しながら要求。熱心にパネルを見ながらメモをとる姿があった。寄宿舎指導員の採用試験再開問題は、非正規が80%に迫るなか、地元選出の議員と懇談をもち、事態打開に向け取り組んでいる。妊娠負担軽減、管理職によっては学校に1人という所もありませんが、改善させています。

和田山特別支援学校分会 吉池次男

青年部拡大の取り組みとして、職場のおかしなことに異議申し立ての声を共にあげた同僚の同志に「君みたいなのは組合に入るべきだ！」と勧誘している。(フラれてもめげません。)

12月、相生市「羅漢の里」での「冬の集い」は、10名を超える参加者で大盛況だった。1日目は青年部交渉や賃金確定交渉の結果報告、その後授業実践の交流で語り合った。2日目は赤穂市立歴史博物館や赤穂城に赴き、日本史の学習を深めた。今後も青年部を盛り上げられるよう尽力したい。

高砂高校分会 田代裕也

服務システムについて、情報共有したい。教員の仕事は、出勤してすぐPCをログオンして、最後にログオフして帰宅する、というものだけではない。教育実習生担当だが、朝はまず実習生の控え室へ連絡のために出向く。当然ログオンは遅れる。また、PCの起動がものすごく遅い。校務システムに入るのも10分かかる。出退勤の時間の正しい記録もできない。あとで管理職が修正できると聞いたが、とても不安。見切り発車でスタートさせたのではないか。他校の様子も聞きたい。

兵庫高校分会 高井輝基

1月18日に高校の給料表見直し交渉の妥結をした。神戸市はメリハリある給与体系をつくるとして、導入した主幹教諭の給与の原資を中高年層の見直しで捻出するという提案をしてきた。市高は署名や申し入れを行い、給料表の改悪を一定回避させた。若年層は県に劣らない水準に、中高年層も退職手当も含めて高い水準を維持させることができた。休暇制度も、取得しやすい整備を行うと表明させた。これは今まで高教組が勝ち取ってきたものがあってこそだと思う。今後も、県の成果を神戸市に、神戸市の成果を兵庫県に導入させる運動が必要だ。

摩耶兵庫高校分会 和田 進

但馬支部では本年度 7 名の新加入があつた。そのうち初任者が 2 名、臨時講師が 3 名であり、活動内容を周知し、組合の意義を理解してもらいながら組織拡大を行うことができた。

10月には地区の教育研究集会を行い、特別支援教育、BYOD をテーマに議論した。感染症対策のため限られた形式での開催となつたが、各校の教員が意見を交わす有意義な機会となった。

豊岡高校分会 荒木淳士

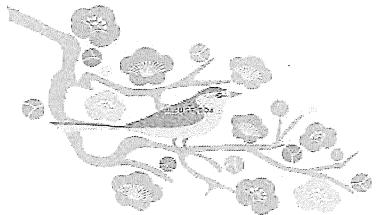
図書館の担当をしている。今後の図書館が充実できるのか、心配している。図書館の現状について、情報交換がしたい。また、新聞を開く生徒も減っている。国は5紙設置とか言っているが、今後が心配される。

川西明峰高校分会 森野雄二郎



ZOOM会議でも活発な討論  
ありがとうございました。

勧誘リーフ配布中。  
「組合に入ろう」  
声かけを広めましょう



最後に以下の特別決議が採択されました。

### 特別決議 「私たちは憲法改悪を許さない 大切な人を守りたいからー」

長引くコロナ禍、各地で取り組まれている困窮者支援の食料配布には多くの人が並び、その中に子どもの姿を見つけると胸が痛みます。日本国憲法は25条で、すべての人に「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を謳っていますが、広がる格差と自己責任論の中で命の重みも揺らいでいます。あえて主張する必要がなかったはずの命と人権の大切さを、大きな声で叫ばなければならぬ時代なのかもしれません。

命と人権を脅かす、一番の脅威は戦争です。私たちの国の憲法は、第二次世界大戦の反省の上にたって、前文で「政府の行為によって再び戦争の災禍が起こることのないようにすることを決意」し、9条で戦争の放棄を明確に定めました。そこにはこう記されています。「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、國權の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。國の交戦権は、これを認めない。」その後も世界中で国際紛争は続きましたが、この憲法に守られたことで日本が戦渦に巻き込まれずに済んだのです。ところが今の政権はアメリカの世界戦略構想に手を貸すために邪魔な9条を変えようとしています。その前段階として、2015年に多くの反対の声を押し切って通した「戦争法（安保法制）」で、世界中どこでも同盟国アメリカが仕掛けた武力攻撃に日本も手を貸すことができるようにしました。これを具現化するひとつの構想が、「敵基地攻撃能力の保持」です。日本防衛のため岸田首相は説明していますが、現憲法で禁じられた明らかな武力行使です。だから憲法を変える必要があるわけです。秋に行われた衆議院議員選挙で自民党、公明党が安定多数を保持し、さらに維新の会など改憲勢力が勢力を伸ばしたこと、改憲のための国民投票の動きが一気に動き出しました。戦争に巻き込まれないために、大切な人の命と人権を守るために、何としても憲法改悪を許してはなりません。

私たちの先輩は、軍国教育に加担せざるを得なかった辛く苦しい経験から、「教え子を戦争に送らない」の思いを教職員組合の柱にしてきました。その思いを引き継ぎ、今最大の危機を迎えている平和憲法を守る取り組みを広げましょう。「憲法改悪を許さない全国署名」を手に、多くの人にその意義を語り、署名を広げましょう。未来の子どもたちのために、後悔を残さないように、高教組はその取り組みの先頭に立つ覚悟です。

### 新型コロナウイルス感染拡大に関する緊急要求書 県教委に提出（2月2日）

休校や学年・学級閉鎖が増える中、教職員の感染に対する不安は募る一方です。高教組は教職員が安心して働くために、在宅勤務を取りやすくすること、また時間講師の方の賃金保障などを要求しました。

折衝の結果は調査情報 NO27 をご覧ください

高教組 HP からもご覧になれます。➡



高教組の「これから」を考えるための【未来プロジェクトアンケート】SNSを通して実施中。この機会に各自でメール登録かグループline参加のご協力をお願いします。情報共有がスムーズにできます。

グループline登録はここから検索→  
アンケートはここから→

